

安全データシート

ジベレリン明治

作成日: 2014 年 4 月 11 日

改訂日: 年 月 日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名: ジベレリン明治
会社名: Meiji Seika ファルマ株式会社
住所: 〒104-8002
 東京都中央区京橋二丁目 4 番 16 号
電話番号: 03-3273-0177
FAX 番号: 03-3271-1460
緊急時の電話番号: 公益財団法人 日本中毒情報センター
 中毒 110 番(事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)
 <一般市民専用無料電話>
 大阪中毒 110 番(365 日 24 時間対応)
 072-727-2499(情報提供料:無料)
 つくば中毒 110 番(365 日 9 時~21 時対応)
 029-852-9999(情報提供料:無料)
 <医療機関専用有料電話>
 大阪中毒 110 番(365 日 24 時間対応)
 072-726-9923(1 件につき 2,000 円)
 つくば中毒 110 番(365 日 9 時~21 時対応)
 029-851-9999(1 件につき 2,000 円)
 医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、情報料 1 件につ
 き 2,000 円を徴収します。
推奨用途及び使用上の制限: 農薬(植物成長調整剤) 農薬登録範囲外の使用は不可。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類: 該当しない。
GHS 分類に該当しない他の有害危険性: 該当しない。

3. 組成、成分情報

単一性品・混合物の区別: 混合物
一般名: ジベレリン

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法	安衛法	
ジベレリンA3; 2,4a,7-トリヒドロキシ -1-メチル-8-メチレンシヘ-3-エン -1,10-ジカルボン酸 1,4-a→ラクトン	3.1%	4-785 9-2556	—	77-06-5
湿展剤(界面活性剤)	3.1%	—	—	—
保存剤	極微量	3-1585	—	94-26-8
増量剤(乳糖)	残り	—	—	10039-26-6

4. 応急措置				
吸入した場合:	通常の使用においては、その該当がない。			
皮膚に付着した場合:	特別な措置は要しないが、やわらかい布等でふき取るか水で洗い流す。			
目に入った場合:	直ちに水で眼を数分間注意深く洗う。異常があれば、医師の手当を受ける。			
飲み込んだ場合:	速やかに口をすすぎ、異常があれば医師の手当を受ける。			
5. 火災時の措置				
消火剤:	水、粉末、二酸化炭素、等通常の消化剤。			
使ってはならない消火剤:	情報なし。			
消火を行う者の保護:	適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。			
6. 漏出時の措置				
人体に対する注意事項:	呼吸用保護具及び通常の保護具を着用して作業を行う。			
保護具及び緊急時措置:	作業者は適切な保護具(「8. 暴露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、飛沫、粉じん、ミスト、ガスなどによる眼、皮膚への接触や吸入をさける。			
環境に対する注意事項:	特に留意する必要はない。			
回収・中和並びに封じ込め及び浄化方法・機材	多量に漏出させた場合は、容器に回収するか土砂等に吸着させ容器に回収して適切に処理する。漏出したあとは多量の水で洗い流す。			
7. 取扱い及び保管上の注意				
取扱い				
技術的対策:	着衣、皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らないよう適切な保護具を着用する。			
局所排気・全体換気:	取扱いは換気の良い場所で行う。			
注意事項	みだりに粉じんが発生しないよう取り扱う。			
安全取扱い注意事項:	特に留意する必要はない。			
保管				
保管条件:	直射日光をさけ、食品と区別し、小児の手の届かないなるべく低温で乾燥した場所に密閉して保管。			
安全な容器包装材料:	特に留意する必要はない。			
8. ばく露防止及び保護措置				
設備対策:	取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。			
保護具				
呼吸器の保護具:	防じんマスク。			
手の保護具:	不浸透性手袋。			
眼の保護具:	側板付き眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡。			
皮膚及び身体の保護具:	長袖の作業衣・長靴。			
9. 物理的及び化学的性質				
物理的状態、形状、色など:	白色顆粒状粉末			
pH:	3.4~5.0			
比容積:	1.6~2.0mL/g			
10. 安定性及び反応性				
安定性:	熱・光に対して安定。			
危険有害反応可能性:	特になし。			
避けるべき条件:	通常の使用方法ではその該当がない。			
混触危険物質:	特に留意する必要はない。			
危険有害な分解生成物:	特に留意する必要はない。			
11. 有害性情報				
急性毒性:	経口	ラット	♂♀	> 5000 mg/kg
		マウス	♂♀	> 5000 mg/kg
	経皮	ラット	♂♀	> 2000 mg/kg [区分外]

<p>皮膚刺激性</p> <p>眼に対する重篤な損傷/刺激性</p> <p>皮膚感作性:</p>	<p>ウサギ 陰性</p> <p>ウサギ 刺激性あり、洗眼により軽減</p> <p>モルモット 陰性</p>
<p>12. 環境影響情報</p>	<p>本化合物は植物に内生する化合物で環境に与える影響は少ない。</p>
<p>13. 廃棄上の注意</p> <p>残余廃棄物:</p> <p>汚染容器及び包装:</p>	<p>法、条例に従って安全に処理する。または廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。</p> <p>空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理する。洗淨水は圃場等で使用する。</p>
<p>14. 輸送上の注意</p>	<p>容器に異常のないことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。</p>
<p>15. 適用法令</p> <p>農薬取締法:</p>	<p>登録番号 第6004号</p>
<p>16. その他情報</p> <p>引用文献:</p>	<p>自社データ</p> <p>記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しております。記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには注意して下さい。なお、注意事項等については通常の取り扱いを対象にしたものですので、特別な取り扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。</p>